

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》ルカによる福音書 2:22-40

おさなご
幼子イエス

イエスが幼子として生まれたことには
じゅうよう いみ ふく おさなご む
重要な意味が含まれています。幼子は無
りよく だれ たす い
力であり、誰かの助けがなくては生きて
いけません。私たちが神の子としてのイ
かんが とき わたし ちが とくべつ
エスを考える時、私たちとは違う特別な
かた
方というイメージがあります。しかし、
じっさい わたし おな すがた い
実際にはイエスは私たちと同じ姿で生ま
れました。イエスはガリラヤのナザレで、
よぜつとマリアのもとで育てられ、成長
していきます。

こ せいちよう
子どもたちがだんだんと成長していく
だれ し
ことは誰でもが知っていることであり、
じぶんじしん けいけん
自分自身の経験してきたことでもありま
おさなご すがた う せいちよう
す。幼子の姿で生まれ、成長されたイエ
かんが わたし しんこうせい
スのことを考えながら、私たちの信仰生
かつ おな せいちよう かん
活も同じように成長していくことを考え
ひつよう
てみる必要があります。

しん こう
アブラハムの信仰

そのため、アブラハムのことを考える
わたし しんこうせいかつ
ことは、私たちの信仰生活にとつとて
だいじ せいしよ きじ
も大事なことです。聖書の記事によりま
かみ よ
すと、アブラハムは神からの呼びかけに
こた こうどう つた
答えて、行動したと伝えられています。
じっさい はじ なに
しかし、実際には、始めは何もわからず
こうどう けっか で あと ふ
に行動し、その結果が出てから、後で振
かえ み かみ よ
り返って見て、それが神の呼びかけだっ
かんが
たと考えたのです。

つまり、アブラハムも始めから信仰を
も せいしよ しんこう
持っていたのではなく、いろんな出来事
けいけん せいちよう しんこう たし
を経験するなかで成長し、信仰を確かな
ものとしていったのです。

このように、誰でも始めから完成され
ひと けいけん とお
た人はいません。いろんな経験を通して
せいちよう せいちよう
成長していけるのです。イエスが成長さ
すがた とお わたし しんこう あゆ
れていく姿を通して、私たちも信仰の歩
こんご つづ たいせつ
みを今後も続けていくことが大切なので
す。

せいけい そく しゅくじつ ねん たせきの
聖家族の祝日B年（滝野）